

「暖かい正月を」と物資

門徒推進員が地元寺院に呼び掛け

滋賀

滋賀県野洲市の超宗派の43寺院で組織する中主仏教会(福永恵順会長)

は、「被災者に暖かい冬と正月を迎えてもらおう」と、支援物資を集めた。本派寺院や木

辺派本山・錦織寺では報恩講などで参拝者に協力を呼びかけた。

11月末の2日間に支援物資がコミュニティ

センターに集められ、物資は冬物衣料品や毛布、電気カーペットのほか、米や野菜など2



左端)が本紙を読み、被災者への継続的な支援と不足物資の協力を募っていることを知り、同仏教会に呼びかけ始まった。

◇ 同ボランティアセンターは、冬期に必要な支援物資を募っている。ストーブや布団、電気毛布、ホットカーペットなど。いずれも新品が望ましい。

トトラック1台分となった。物資はトラックで仙台市の東北教区災害ボランティアセンター

・問い合わせは本山・宗門災害対策室 ☎075(3971)5050。

この活動は、門徒推進員の田中修さん(同センターのホームページにも掲載<http://oter>

<http://oter> a-vc.jindo.com